

1 新聖歌266番 罪とがを赦され D

1.
 罪 とがを赦され 神の子となりたる
 わが魂(たま)の喜び 比べ得(う)るものなし

日もすがら証しせん 夜もすがら主をほめん
 「御救いは妙(たえ)なり 御救いは奇(くす)し」と

2.
 主に全またく従い 安き得しわが身に
 天あまつ家やの歌声 響き来る心地す

3.
 主のものとせられし わが身こそ幸なれ
 感謝なき日はなく 賛美なき夜よはなし

【平和はじめて知った】

1
 D F#m Em7 A7
 平和 はじめて知った
 D F#m Em7 A7
 イエスに出会ってから

G G#dim F#m B7
 平和 それは わきあがり
 Em A7 F#m Bm G A7 D
 満たし 生かす 私たちの心を

2 愛 はじめて知った
 3 希望 はじめて知った

来たれイエスを礼拝しよう

D Dmaj7 Em A
 来たれイエスを 礼拝しよう
 F#m B7 Em A7

みまえにひざまずこう

Bm C# F#m B7
 何にもかえがたい イエスの臨在
 Em A7 D
 今ここに溢れてる

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
=教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
=ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため
- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様がご一緒ですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number: 120 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ローマ人への手紙8章26～28節

26 御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。27 そして、人の心を探り知るかは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをして下さるからである。28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

コリント人への第一の手紙2章8～11節

8この世の支配者たちのうちで、この知恵を知っていた者は、ひとりもいなかった。もし知っていたなら、栄光の主を十字架につけはしなかったであろう。9 しかし、聖書に書いてあるとおり、
「目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、
人の心に思い浮びもしなかったことを、
神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた」
のである。10 そして、それを神は、御霊によってわたしたちに啓示して下さったのである。御霊はすべてのものをきわめ、神の深みまでもきわめるのだからである。11 いったい、人間の思いは、その内にある人間の霊以外に、だれが知っていようか。それと同じように神の思いも、神の御霊以外には、知るものはない。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

「聖霊の助けがなければ一つの祈りさえもできないし、まして祈り続けることなど到底できません。しかし、聖霊が私たちの心を整えて、祈るにふさわしい思いをつくってくださいます。そして祈っている間は、その祈りが主なる神様のみもとに届くように、私たちの祈りを助けてくださるのです。」 ジョン・バニヤン

4

みことばの解説

ジョン・バニヤン(1628-1688)は、イギリスの牧師であり、文学者です。『天路歷程』の著者と言った方が分かり易いかもかもしれません。彼は、その著書を獄中で書きました。世界中に影響を与え、オルコットの『若草物語』や宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』も、『天路歷程』に影響されて書かれたと言われます。



彼は12年間の投獄の中で祈りました。聖霊様の力によって祈り続けました。そして生み出されたのが『天路歷程』だったのです。ジョン・バニヤンは、祈りについてこう語っています。

祈ることは神の定めです。公の場で、また個人として、祈ることを神は命じられました。心から神に願い求める人は、祈ることを通して、神をさらに深く知るようになります。ですから、神との交わりがさらに深められるための一つの道として、神は祈ることを定められたのです。

私たちの行動が祈りに支配されるとき、神から素晴らしいものを頂くことになります。祈る人と、祈られている人が、共に恵みをいただけるのです。祈りは神の心を開く、と言ってもいいでしょう。また、祈りを通して、空しかったたましいが神によって満たされます。

まことの祈りとは、誠実に、はっきりした意識をもって、熱意を込め、キリストを通してたましいを神に注ぎ出すこと、また、聖霊の力と助けにより、神の約束、神のことばにかなうものを求めること、そしてそれは、教会の益を願い、信仰をもって神の御旨に従おうとする思いから出てくるものである。

「ジョン・バニヤンによる祈りの力」より引用